

MELON 2010 年度事業報告

【はじめに】

1993年6月5日にMELONが設立され、18年目の事業を終了しました。

2010年度は、年度末の3月に東日本大震災があり県内各地で未曾有の被害がありました。被害にあわれたみなさまにはあらためてお見舞い申し上げます。

2010年度事業の基調は「地域と連携した環境保全活動の推進」「積極的な政策提言」「MELONの活動の更なる活性化」「新公益法人制度に基づく新法人への移行」の4つでした。

2010年6月12日の「第15回MELON会員と市民のつどい」では、川北秀人氏(IIHOE〈人と組織と地球のための国際研究所〉代表)に記念講演をお願いし、「企業の環境活動はあなた(市民)が変える!」と題して消費者の企業(製品)の選び方・消費行動が、企業の取り組みを変えていくことなどをお話いただきました。会場では、MELONを支えていただいている会員企業の有志と部会プロジェクトの展示ブースを出展し来場者に活動をアピールしました。

2010年度の特徴的な活動として、4月から環境省の東北環境パートナーシップオフィス(EPO東北)の運営を請け負うこととなり東北6県の環境活動のHUBとしての役割を果たすことになりました。

環境省「環境教育リーダー研修基礎講座企画等業務」を受託し、環境教育に携わる方々の養成講座を行いました。10月には名古屋で開催されたCOP10(第10回生物多様性条約締約国会議)に役員3名事務局員3名を派遣し、現地から会場の熱気や様子をブログで発信し、帰仙後には報告会を行いました。

ストップ温暖化センターみやぎにおいては、12月にメキシコで開催されたCOP16(第16回気候変動枠組条約締約国会議)に運営委員1名、事務局員1名を派遣し、現地の様子や会場の状況などを発信しました。また環境省補助事業として、家庭でのエネルギー使用状況を調べ省エネの助言を行う「うちエコ診断事業」を実施し、家庭での省エネを推進しました。ブリティッシュカウンシルとのパートナーシップ事業としては、気候変動に関する活動を行う高校生を募集し活動の支援を行う気候チャンピオンの事業を行いました。

MELON情報センターではわかりやすい情報発信をめざすとともにジャーナリスト班・電脳班・文芸班に分かれて活動を行うなど新たな試みも始めました。

提言活動としては、各種委員会で委員として意見を述べた他、仙台市へ「杜の都環境プラン[改訂版]中間案」「一般廃棄物(ごみ)処理基本計画[改訂版]中間案」「仙台市都市計画の方針(素案)」「仙台市地球温暖化対策推進計画[改訂版]中間案」に関する意見書を提出しました。

その他部会・プロジェクトの活動では、環境市民講座の開催、「名水」をテーマにした活動、森林での体験活動、ISOの勉強会、エコ・クッキング講座の実施、プロスポーツでの環境活動、事務局サロンスペースでのエコレッスン、市民共同発電に関する勉強会など、多くの会員・市民に向けて多様な活動を行いました。

また、新公益法人法に基づく新法人への移行については、2月15日に公益財団法人への認定申請を行い7月から公益財団法人としてスタートできるよう準備作業を進めました。

【3年間の実績】

【表1】

	2008年度	2009年度	2010年度
会員数	1,037 (入40・退32)	1,029 (入17・退25)	1,013 (入37・退53)
収入	43,870,813円 (内経常収益34,291,155円、 内繰越金9,579,658円)	55,051,239円 (内経常収益45,100,094円、 内繰越金9,951,145円)	56,022,248円 (内経常収益41,487,911円、 内繰越金14,534,337円)
支出	33,919,668円	40,516,902円	45,428,754円
基本金	45,546,958円	45,546,958円、	45,546,958円
繰越金	9,951,145円	14,534,337円	10,593,494円
新たな事業・活動	経済産業省「住宅用太陽光発電導入支援対策費補助金」事業の窓口団体となる水部会において「水の神さま」を探せプロジェクトを企画し「水の神さま」マップを作成 環境省エネルギー対策特別会計委託事業「推進員OJT研修事業」を受託し環境学習プログラム、ストップ温暖化すごろくを作成 新公益法人法に基づく公益認定等ガイドラインに対する意見書を提出	ストップ温暖化センターみやぎ10周年キャラバン「ツバルから考える地球の未来」を実施 写真展「ツバルに生きる1万人の人類」を開催 環境省「循環型社会地域支援事業」を受託 食育に関する連続市民講座を開催 地球温暖化対策基本法案に対する意見書を提出 (仮称)みやぎ環境・エネルギー税に対する意見書を提出	東北環境パートナーシップオフィス(EPO東北)の運営 名古屋・COP10(生物多様性条約締約国会議)、メキシコ(COP16)への派遣 環境省補助事業「うちエコ診断事業」を受託 ブリティッシュカウンシルとのパートナーシップ事業「気候チャンピオン」の実施 環境省「環境教育リーダー研修基礎講座企画等業務」を受託

【2010 年度活動報告】（センター・部会・プロジェクト等の詳細報告は活動資料の項に掲載）

I. 10 年度重点テーマに関する活動概要

(1) 地域と連携した環境保全活動の推進

地球温暖化防止活動推進員や県内自治体と連携したイベントへの参加、地域での環境学習への対応などを行いました。

(2) 積極的な政策提言

行政の環境施策について委員会や審議会の場で進言・提言を行いました。仙台市へ「杜の都環境プラン[改訂版]中間案」「一般廃棄物(ごみ)処理基本計画[改訂版]中間案」「仙台市都市計画の方針(素案)」「仙台市地球温暖化対策推進計画[改訂版]中間案」に関する意見書を提出しました。

(3) MELON の活動の更なる活性化

環境省の機関となる東北環境パートナーシップオフィス(EPO 東北)の受託、自治体・他団体との協働事業への参加や新規事業の受託など、活動の活性化を図りました。

(4) 新公益法人制度に基づく新法人への移行

新公益法人制度申請準備チームを組織し検討を重ねた上で、2011 年 2 月 15 日に公益財団法人への申請を行いました。

II. 主催イベント報告

上記の重点テーマを柱に各部会・プロジェクト等が中心となって各種イベントを開催し、のべ 18 回、447 名の参加となりました。下記のほか、MELONcafe にて毎月プチ講座を実施しました。

【表 2】

	開催日	イベント	開催場所	講師	担当部会 プロジェクト	参加者	共催団体
1	4 月 18 日	MELONcafe プチ講座 「春をエコに楽しもう！エコ花見」	三神峰公園		MELON cafe	7 名	
2	5 月 8 日	MELONcafe プチ講座 「マイはし袋を作ろう！」	MELON 事務局		MELON cafe	6 名	
3	5 月 15 日	第 1 回環境市民講座 「森で遊ぼう！in 川崎町貸森林」	川崎町貸森林	宮城県地球温暖化防止活動推進員エコ・森林グループ	緑・食部会	18 名	
4	6 月 19 日	MELONcafe プチ講座 「リメイクキャンドル作り」	MELON 事務局		MELON cafe	14 名	
5	6 月 23 日	第 2 回環境市民講座 「リサイクルセンター見学会 野菜くず・トレーの行方は？in 大衡村」	・みやぎ生活協同組合リサイクルセンター ・株式会社エフピコ東北リサイクルセンター		企業&環境プロジェクト	20 名	
6	7 月 4 日	第 3 回環境市民講座 「田んぼの学校」	大崎市田尻	佐々木陽悦氏 (MELON 理事・みちのく田んぼの学校代表)	緑・食部会	47 名	
7	7 月 17 日	MELONcafe プチ講座 「エッセンシャルオイルでエコな虫よけ作り」	MELON 事務局		MELON cafe	12 名	
8	7 月 27 日	第 4 回環境市民講座 「めざせ☆ベガルタ仙台・エコサポーター！！～2010～」	ユアテックスタジアム仙台	川岸 啓悟氏 (株式会社エフピコ東北営業部)	エコシテイ仙台プロデューズプロジェクト	38 名	株式会社ベガルタ仙台

9	7月30日	第5回環境市民講座 「夏休み！石巻市施設見学ツアー ～日本製紙工場・東部浄化センター～」	・日本製紙株式会社石巻工場 ・石巻東部浄化センター		水部会	18名	
10	8月21日	第6回環境市民講座 「親子でエコ・クッキング」	仙台市ガス局シヨールーム「キッチンパレット」	長山恵理子氏 (仙台市ガス局管理栄養士)	ごみ減量プロジェクト	24名	
11	8月21日	MELONcafe プチ講座 「天然素材でアロマのバスボム作り」	MELON 事務局	川村康子さん (エコ家事プランナー)	MELON cafe	8名	
12	8月22日	「第1回環境学習に携わる小学校教員の方々の交流会」	フォレスト仙台5階501会議室	西直人氏 (リードクライム株式会社代表取締役)	ストップ温暖化センター	3名	
13	9月18日	MELONcafe プチ講座 「エッセンシャルオイルでハーブの手練石けん作り」	MELON 事務局		MELON cafe	9名	
14	10月9日	MELONcafe プチ講座 「毛糸でかわいいアクリルたわし作り」	MELON 事務局		MELON cafe	5名	
15	10月11日	第7回環境市民講座 「エコ芋煮会 ～マイ箸で地元の食材を味わおう！～」	牛越橋河原		情報センター	27名	環境サークル RNECS
16	10月17日	気候ネットワーク 「地球温暖化防止のための国際合意と国内対策促進のリンクプロジェクト」 地域セミナー	仙台市市民活動サポートセンター6階セミナーホール	・加藤三郎氏 (NPO 法人環境文明 21 共同代表) ・平田仁子氏 (NPO 法人気候ネットワーク東京事務所所長)	ストップ温暖化センター	20名	NPO 法人気候ネットワーク
17	11月3日	MELONcafe プチ講座 「リメイクエッグキャンドル作り」	MELON 事務局		MELON cafe	8名	
18	11月6日	第8回環境市民講座 「秋の森で遊ぼう！in 川崎町貸森林」	川崎町貸森林	宮城県地球温暖化防止活動推進員エコ・森林グループ	緑・食部会	12名	
19	11月21日	第9回環境市民講座 「親子でエコ・クッキング ～クリスマスのおもてなし～」	仙台市ガス局シヨールーム「キッチンパレット」	長山恵理子氏 (仙台市ガス局管理栄養士)	ごみ減量プロジェクト	24名	
20	12月15日	第10回環境市民講座 「<ISO26000>とこれからの地域社会 ～組織の社会的責任(SR)を考える勉強会～」	仙台市青年文化センター「研修室3」	黒田かをり氏 (CSO ネットワーク共同事業責任者、ISO26000 策定日本 NGO エキスパート)	企業&環境プロジェクト	13名	
21	12月22日	MELONcafe プチ講座 「リメイクキャンドルでキャンドルナイト★」	Café mon st.lou	石垣政裕氏 (MELON 理事)	MELON cafe	3名	
22	1月15日	第11回環境市民講座 「キルト作りカフェ ～ドイツのエコな暮らし～」	旅カフェ・サマルカンド	森川明子氏 (キルト作家)	情報センター	15名	
23	1月22日	MELONcafe プチ講座 「保温調理で簡単プリン作り」	MELON 事務局		MELON cafe	4名	
24	1月23日	第2回環境学習に携わる小学校教員の方々の交流会 「聞こう！語ろう！環境教育のゲンバ！」	フォレスト仙台2階第6会議室	西直人氏 (リードクライム株式会社代表取締役)	ストップ温暖化センター	6名	

25	1月29日	第12回環境市民講座 「冬の渡り鳥を見に行こう！ ～ガンのねぐら入り～」	伊豆沼、内沼	・呉地正行氏 (MELON 理事、 日本雁を保護する 会会長) ・池内俊雄氏 (雁の里親友の 会、エコパル化女 沼)	水部会	21名	
26	1月31日	「WARMBIZ(ウォームビズ) ～『家』から温暖化対策を考える～」	せんだいメディア アテーク1階オ ープンスクエア	安井妙子氏 (一 級建築士)	ストップ 温暖化セ ンター	101名	
27	2月11日	MELONcafe プチ講座 「米粉で簡単♪スイーツ作り」	MELON 事務局		MELON cafe	15名	
28	2月19日	第13回環境市民講座 「森の木でかわいいアニマルクラフト作 り～うさぎ・ふくろう～」	フォレスト仙台 5階会議室	宮城県地球温暖 化防止活動推進 員エコ・森林グ ループ	緑・食部会	23名	
29	3月6日	第14回環境市民講座 「森の木でかわいいアニマルクラフト作 り～カエル・くま～」	フォレスト仙台 5階会議室	宮城県地球温暖 化防止活動推進 員エコ・森林グ ループ	緑・食部会	17名	
30	3月12日	第15回環境市民講座 「親子でエコ・クッキング ～卒業・入学のお祝い～」	仙台市ガス局シ ョールーム「キ ッチンパレッ ト」	長山恵理子氏 (仙台市ガス局管 理栄養士)	ごみ減量 プロジェ クト	震災の ため 中止	
31	3月19日	MELONcafe プチ講座 「空きビンをリメイク♪ガラスエッチ ング」	MELON 事務局		MELON cafe	震災の ため 中止	

Ⅲ. 活動組織ごとのまとめ

テーマごとに会員・市民と連携し積極的な活動を展開しました。

各部会・プロジェクトともに活動内容や運営方法について積極的に意見交換を行い、随時改善を行っています。より多くの市民にアピールし活動の底辺を広げていくために、わかりやすく楽しい活動を目指し、活動内容の一層の充実に努めました。(活動詳細は活動資料の項参照。)

1. センター

【表3】

ストップ温暖化セ ンターみやぎ (宮城県地球温暖 化防止活動推進セ ンター)	「みやぎ・うちエコ診断」事業では、宮城県の協力を得て各家庭での二酸化炭素排出状況にそった対策提案を行い、環境配慮型行動の実践を促すことができました。また、小学校教員を対象とした事業や高校生の取り組みを支援する活動を行い、学校との関係を構築する事業にも積極的に取り組みました。さらに環境学習や地域でのイベント出展では推進員への活動の場の提供や協力して参加するなど、推進員との連携強化に努めました。そして活動では行動の変化や啓発活動による意識の変化を測定する調査を行い、事業効果の測定を行いました。 このほか、COP16には2名を派遣し、会議の様子や各国のNGO等の活動についての情報発信を行いました。
情報センター	2010年度は、ウェブサイトや情報紙による情報発信のほか、ブログを用いたCOP15に関する迅速な情報提供やウェブサイトの「アウトドアのエコ」と連動した講座を開催し、多角的な情報提供を行いました。また、より具体的に活動を進めていくための組織体制作りとして、情報センターにジャーナリスト班・電脳班・文芸班の3つの班を作り活動を始めました。

2. 部会・プロジェクト

【表4】

部会・プロジェクト	活動内容
水部会	2010年度は仙台市域において進めてきた「水の神さまを探せ！プロジェクト」を宮城県内の他地域にも展開するため、例会と事前調査を行い準備を行いました。また、小学校の授業でプロジェクトの成果を盛り込んだ授業をするなど調査内容の活用も行いました。
緑・食部会	2010年10月に愛知・名古屋で生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)が開催されたことから、前半は生物多様性やCOP10への理解を深めるための勉強会を重ね、後半は学校給食についての情報交換やTPPについての勉強会を行うなど、食の現状について理解を深めました。また、田んぼや森林など里山と触れ合う講座を開催し、多くの親子に自然を体験してもらうことができました。
企業&環境プロジェクト	企業の環境に対する取り組みを考え学び合い、廃棄物削減・社会貢献等をテーマに異業種間のネットワークをつくることを目的に活動しました。5月は、「リサイクルセンター見学会」、12月に世界のCSRの集大成となる国際規格「ISO26000」の勉強交流会を開催しました。
ごみ減量プロジェクト	「家庭の中で取り組むごみ減量」をテーマにさまざまな活動に取り組みました。環境団体が協力して取り組んでいる「仙台市エコフェスタ」、「リサイクル展」などのイベントに取り組むとともに、「手動式生ごみ堆肥化機器」の使用実験の取組や情報発信を開始しました。 当初計画をしたエコにこショップ登録店に対するアンケートに基づいた提言活動や企業のエコ活動紹介はできませんでしたが、仙台市廃棄物処理基本計画中間案に対してプロジェクトとして意見書(パブリックコメント)を提出しました。 部会メンバーは前年に比べて大きく広がり、例会への参加数も増えて活動が活発になりました。 ごみ減量の活動は息の長い活動であることから、部会の名称を「ごみ減量プロジェクト」より来期は「4R推進部会」に変更することとしました。
MELON cafe	10年度も引き続きMELON事務局サロンスペースにおいて「MELONcafeプチ講座」を開催し、環境に興味・関心のある市民が気軽に集い情報を得る場、またMELONに興味・関心のある市民がMELONを知り親しみを持つことのできる場とし、情報の充実と月1回のエコを体験できる内容で開催しました。
自然エネルギー等普及プロジェクト	仙台市環境企画課と当プロジェクトが協働で仙台市が企画している「市民共同発電設置検討」を基に自然エネルギーに関する勉強会を開催した他、メンバーからの強い要望で目に見える活動成果を出す為の中長期的な活動計画を作るためのワークショップを開催した。
エコシティ仙台プロデュースプロジェクト	在仙3つのプロスポーツ(ベガルタ仙台、楽天イーグルス、仙台89ERS)の運営会社と連携して、スポーツ会場での環境活動と循環型の興行を模索し、スタジアム・アリーナ(ユアテックスタジアム仙台、クリネックススタジアム宮城、仙台市体育館)を拠点に活動しました。また、エコシティ仙台の創成に向けて、スタジアムや体育館にとどまらない活動も行いました。 環境省、宮城県、仙台市と3つの運営会社で定期的に開催している検討会議においては、問題点の解決とごみ分別・減量活動等々について検討を重ねました。

3. 環境省の委託事業等

「平成22年度東北環境パートナーシップオフィス運営業務」「平成22年度生物多様性地域対話全国連携事業」「平成22年度環境教育リーダー研修基礎講座企画等業務」「平成22

年度海岸漂着ゴミ調査等手引き(小冊子)作成業務を受託しました。また、ストップ温暖化センターみやぎにおいて、「平成 22 年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金・地域活動支援事業」を受託しました。(内容はストップ温暖化センターみやぎの項を参照。)

4. 外部法人の委託事業等

ストップ温暖化センターみやぎにおいて「ブリティッシュ・カウンシル」(国際交流をメインとして世界各国で活動を行う英国の公的機関)の「気候チャンピオン事業」(国内の 15～18 歳の若者で気候変動に対する取り組みを行う者を募集し、プロジェクトの支援、国際会議への派遣を行うもの)の請負協力を行いました。

5. その他

国際会議への参加

(1) 生物多様性条約第 10 回締約国会議 (COP10) への参加

役員 3 名、事務局 3 名の計 6 名が、COP10 期間 10 月 18～29 日のうち 22～30 日を 3 グループに分かれ、順番に参加した。国際会議の見学および周辺で行われた啓発イベントに参加、情報収集を行った。

(2) 気候変動枠組条約第 16 回締約国会合 (COP16) への参加

ストップ温暖化センターより運営委員 1 名、事務局 1 名の計 2 名が、COP16 期間 11 月 29 日～12 月 10 日の間前半と後半に分かれ参加した。国際会議の見学および再度イベントに参加、情報収集を行った。

IV. 理事会、監事会、評議員会運営

1. 理事会（6回開催）

【表4】

	日程	主要議題
第1回	5月17日	2009年度事業報告・決算報告および監査報告について、基本財産増額について、新公益法人法に基づく「最初の評議員会選考委員会」に提出する最初の評議員案について
第2回	7月5日	評議員の選任について
第3回	9月6日	新たな全国センターへの運用資金一時貸出しについて、新公益法人制度に伴う移行後の新法人決算期について
第4回	11月8日	2010年度補正予算について
第5回	1月11日	2011年度事業計画第一次案について、基本金の運用について、新公益法人法に基づく認定申請書について
第6回	5月16日	2010年度事業計画第二次案について、国債満期に伴う宮城県債購入について

※第6回は3月14日開催予定であったが、東日本大震災の影響により、5月16日に延期とした。

2. 監事会（1回開催）

【表5】

年月日	主要議題
2011年 4月27日	2010年度理事の業務執行状況並びに決算について

3. 評議員会（3回開催）

【表6】

	日程	主要議題
第1回	5月10日	2009年度事業報告・決算報告および監査報告について
第2回	11月1日	審議事項はなし
第3回	3月8日	2011年度事業計画第二次案について

V. 行政、他団体とのパートナーシップ、政策提言等の活動

公的審議会委員会等に会員・役員・事務局が積極的に参画するとともに、行政に対する提案活動をすすめました。

(1) 行政・他団体への政策提言等

【表7】

	提出日	名称等	提出先
1	9月8日	杜の都環境プラン[改定版]中間案	仙台市
2	9月8日	仙台市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画[改訂版]中間案	仙台市
3	2月7日	「仙台市都市計画の方針(素案)」	仙台市
4	2月28日	仙台市環境温暖化対策推進計画[改定版]の中間案	仙台市

(2) 行政・他団体の審議委員会などへの委員派遣等

【表8】

宮城県	環境審議会委員、地球温暖化対策地域協議会委員、「ダメだっちゃん温暖化」宮城県民会議委員、レジ袋の使用削減推進会議委員
仙台市	環境審議会委員、地球温暖化対策推進協議会委員、環境配慮型店舗・事業所認定委員会委員、アメニティせんだい推進協議会委員、廃棄物対策審議会委員、杜の都の市民環境教育・学習推進会議委員、仙台プロスポーツネット幹事、仙台市プラスチック製容器包装再商品化地域連携協議会、3R推進キャンペーン実行委員会委員、仙台市・FEELせんだい(杜の都の市民環境教育・学習推進会議)副委員長、仙台市小学生交通環境学習推進委員会委員、仙台市廃棄物対策審議会委員
他市町村	塩釜市環境審議会委員
他団体	特定非営利活動法人 気候ネットワーク理事・運営委員、仙台広域圏ESD・RCE運営委員会委員、食品の安全行政をすすめる懇談会委員、社会イノベーター公志園 東北公志園世話人(特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンターからの依頼)、社団法人地球温暖化防止全国ネット 代表理事

(3) 行政・他団体などが主催する次の企画の共催・後援及び講師の派遣、意見発表等

◆共催・名義後援

【表9】

	開催日	名称等	内容	主催
1	4月24日 7月10日 10月9日 2月5日	お魚がきっと好きになる料理教室	名義後援	食育NPO「おむすび」
2	6月8日	IBM環境シンポジウム2010	協賛	日本アイ・ビー・エム株式会社
3	8月7日	第5回市民生き生き健康フェスティバル	ストップ温暖化センターみやぎが名義後援	登米市
4	9月15日	わたしたちのくらしと生物多様性	名義後援	みやぎ生活協同組合
5	9月5日 10月7・8日 11月27・28日 12月11日	特定非営利活動法人 環境あきた県民フォーラム	EPO 東北が名義後援	フロン対策で STOP 地球温暖化
6	10月10日	りふ環境まるごとフェア	共催	りふ環境まるごとフェア実行委員会、利府町

7	10月30日 12月11日 3月12日	大人のお魚教室「シッテ・サワッテ・サバイテ・・・魚の達人プロジェクト」	名義後援	食育NPO「おむすび」
8	11月14日	環境セミナーin 八木山動物公園「地球温暖化と私たち」	ストップ温暖化センターみやぎが名義後援	宮城県地球温暖化防止活動推進ネットワーク
9	11月19日	気候変化問題を考える市民と科学者のタバーCOP16にのぞむー	名義後援	日本科学者会議
10	1月30日	SV2004 恒例「エコセミナー」	名義後援	SV2004 市民スポーツボランティア
11	2月20日	環境フォーラム by 市民活動団体	ストップ温暖化センターみやぎが共催	宮城県地球温暖化防止活動推進ネットワーク
11	2月22日	公開研究会「森林資源の有効活用に向けて～オフセット・クレジット制度導入に向けた課題～」	共催	宮城大学地域連携センター地域振興事業部
12	2月26日	角田市「環境フォーラム」	ストップ温暖化センターみやぎが共催	角田市

◆講師派遣

【表10】

	開催日	名称等	講師	主催
1	4月7日	タピオ館立オープン大学「地球が危ない！いまこそエコな暮らしを」	江刺家由美子事務局員 三浦純事務局員	タピオ館立オープン大学事務局(fmいずみ内)
2	6月8日	IBM 環境シンポジウム2010	長谷川公一理事長	日本アイ・ビー・エム株式会社
3	8月6日	環境問題について	江刺家由美子事務局員	旭ヶ丘老荘大学
4	8月21日	亘理町環境フォーラム 地球温暖化について	江刺家由美子事務局員	亘理町
5	8月7日	第一回秋田県地球温暖化防止活動推進員研修「地球温暖化防止活動推進員として活動していくために」	井上郡康 EPO 東北統括	秋田県地球温暖化防止活動推進センター
6	8月14日	「ビューティフルアイランズ」トークイベント	長谷川公一理事長	海南オフィス
7	9月14日	「地球温暖化の基礎知識」	江刺家由美子事務局員	大崎市立松山中学校
8	11月8日	「ガラスエッチングで瓶をリメイクしよう」	廣重朋子事務局員 菅田華江事務局員	西中田小学校社会学級
9	11月30日	タピオ館立オープン大学「かわいいアクリルたわし作り講座」	廣重朋子事務局員 菅田華江事務局員	タピオ館立オープン大学事務局(fmいずみ内)
10	12月14日	宮城教育大学附属小学校 総合的な学習の時間「七北田川上流の様子について」	高野ミヨ子氏(ごみ減量プロジェクトメンバー)、篠原富雄事務局員	宮城教育大学附属小学校
11	2月7日	「地球温暖化とは」	江刺家由美子事務局員	仙台市立幸町小学校
12	2月9日	登米市環境教育リーダー養成講座「地球温暖化とは」	江刺家由美子事務局員	登米市
13	2月12日	ダイワハウスリビングサロンフェア「アクリルでエコたわし作り、卵型キャンドル絵付け」	廣重朋子事務局員	大和ハウス工業株式会社
14	2月27日	子育てほっとステーション助成企画「親子エコクッキング」	昆野加代子氏(ごみ減量プロジェクトメンバー)	みやぎ生協杉の入店こ〜ぷ委員会

◆他団体主催イベント・企画の協力等

【表 1 1】

	開催日	名称等	参加内容	主催団体
1	6月5日	身近な水環境の全国一斉調査	広瀬川流域の水質調査（東北工業大学と合同実施）	全国水環境マップ実行委員会
2	6月8日	IBM 環境シンポジウム 2010	パネル展示	日本アイ・ビー・エム株式会社
3	6月26日	まちなか eco マルシェ	竹の水鉄砲作り、飲料提供	エコプロジェクト
4	7月6日～ 7月10日	みんなですすめよう！ ごみ減量・リサイクル展	全体企画協力 パネル展示・箸袋作り	アメニティ・せんだい 推進協議会
5	7月24日	まちなか eco マルシェ	ハーブの虫よけ作り、 飲料提供等	エコプロジェクト
6	7月31日	おてんき・地震百貨展示	環境学習教材展示、ミニ講座	仙台管区气象台
7	8月 3・4・10・ 11・12日	K スタ宮城 楽天エコ体験ブース	企画協力、全体運営 エコ検定、自転車発電等	楽天イーグルス ボランティア事務局
8	8月7日	第5回市民生き生き健康フェスティバル	タンブラー作り	登米市
9	8月18日	森の役に立つってどんなこと？～汗かき企画～	企画協力、全体運営、 森林整備活動体験	NPO 法人 H.S スポーツクラブ
10	8月28日	まちなか eco マルシェ	ハーブの虫よけ作り、 飲料提供等	エコプロジェクト
11	9月5日	エコフェスタ 2010 ～大きく育てエコの杜～	全体企画協力 七夕の竹で小物作り	アメニティ・せんだい 推進協議会
12	9月18日	子育て応援フェスティバルⅢ かえっこバザール	株式会社サイコーと 協力し紙すき体験	NPO 法人せんだい森 の子ども劇場
13	9月25日	まちなか eco マルシェ	生ごみ堆肥実演、飲料提供等	エコプロジェクト
14	10月9日	おおさき環境フェア 2010	タンブラー作り	大崎市
15	10月14日 ～16日	エコプロダクツ東北 2010	DVD、パネルを東北運輸局に貸出	環境会議所東北
16	10月23日	まちなか eco マルシェ	ペットボトルキャップのプチ針刺し作り	エコプロジェクト
17	11月14日	環境フォーラム仙台 2010 ～環の学校へようこそ～	企画協力、全体運営	FEELSendai (杜の都 の市民環境教育学習 推進会議)
18	11月27日	まちなか eco マルシェ	森林クラフト体験・販売	エコプロジェクト
19	2月26日	角田市 環境フォーラム	講師紹介、グッズ展示	角田市
20	3月27日 ※震災のため中止	なっ得！発見！ エコフォーラム	タンブラー作り、生ごみ堆肥実演、紙芝居	「ダメだっちゃ温暖化」宮城県民会議（宮城県）

◆行政・他団体から受けた表彰・感謝状等

【表 1 3】

日程	自治体/団体等の名称	内容
1月23日	株式会社 ベガルタ仙台	ユアスタでの環境活動のサポートに対する感謝状

(4) 2010 年度末現在 MELON が加入している他団体

【表 1 4】

加入団体	加入形態	会費 (口数)
気候ネットワーク	正会員 (団体)	50,000 円 (10 口)
CASA (地球環境と大気汚染を考える全国市民会議)	会員 (団体)	10,000 円 (2 口)
日本環境学会	正会員 (団体)	10,000 円 (1 口)

VI. 維持会員の状況および事務局体制、ボランティアスタッフの活性化について

1. 維持会員の状況

2010 年度末の会員数は法人 99 (入会 2 退会 4)・任意団体 17 (入会 1 退会 0)・個人 897 (入会 34 退会 49)、合計 1,013 となり、目標の 1,069 には 56 未達で、2009 年度末からマイナス 16 となりました。生協関連会員の連絡不能者を整理したこともあり、退会者が例年以上に多くなりました。

【表 1 5】

会費の 納入状況	2010 年度の会費予算 7,500,000 円に対し、2010 年度内の会費の納入 7,088,000 円となりました。
寄附の 状況	2010 年度合計で 6,918,502 円の寄附をいただきました。内訳は以下の通りです。 みやぎ生協様からみやぎ生協 MELON 協力商品券売上とギフトカード発行による寄附額 4,789,455 円、日専連仙台様から日専連 MELON 協力商品券売上とエコポイント環境寄附額 1,064,019 円・ボトル基金による寄附額 21,131 円、エコポイント事務局様からグリーン家電エコポイントによる寄附額 643,711 円・住宅エコポイントによる寄附額 73,827 円・エコポイント登録団体への均等割り寄附額 29,799 円・「たんすケータイあつめタイ」事業による寄附額 1,718 円、株式会社ウジエスーパー様からレジ袋の販売収益金による寄附額 248,000 円、塩釜市団地水産加工業協同組合様から寄附額 11,927 円、旅カフェサマルカンド様から寄附額 8,200 円、まちなかエコマルシェでの募金額 12,148 円、仙台市エコフェスタでの募金額 1,051 円、MELON 事務局募金箱募金額 1,536 円、個人 2 名から合計寄附額 12,000 円。
助成金の 状況	10 年度は、助成金の獲得は特にありません。

2. 事務局体制について

みやぎ生活協同組合、宮城県農業協同組合中央会、宮城県漁業協同組合、宮城県森林組合連合会、協同組合日専連仙台の事務局体制には変わりありません。

現在事務局次長は空位となっています。事務局長、事務局次長を除いた専任事務局スタッフは、当初スタッフ 6 名アルバイト 2 名でスタートし、委託事業等の関係で最大スタッフ 8 名アルバイト 3 名となりましたが、その後契約変更・退職・採用等により 3 月末時点でスタッフ 9 名アルバイト 1 名となっています。

部会・プロジェクト活動への各理事の参画・事務局ごとの役割分担は下記の通りでした。

【表 1 6】

部会・業務	担当役員	担当事務局
ストップ温暖化センターみやぎ運営委員会	長谷川公一	専任事務局
情報センター運営委員会	石垣政裕	専任事務局
水部会	高橋春男	専任事務局

緑・食部会	冬木勝仁	JA 宮城中央会
企業&環境プロジェクト	遠藤智栄	専任事務局
ごみ減量プロジェクト	松沢夫佐子	日専連仙台
MELON cafe	なし	専任事務局
エコシティ仙台プロデュースプロジェクト	村松淳司	専任事務局
自然エネルギー等普及プロジェクト	長谷川公一	専任事務局

3. ボランティアスタッフの活性化について

「ボランティアポイント制度」

ボランティアスタッフの活用に必要な条件整備の一環として、2003年度6月より導入した本制度（MELON の活動にボランティアとしてご参加いただいた会員の皆様に活動参加の実費の一部補填する意味で、1回のボランティア参加に1個のスタンプを押し、スタンプが5個たまったら時点で1,000円分のMELON 協力商品券と交換するもの）を2010年度も継続運用しました。

- 2010年度ボランティアポイント制度の活用状況
 - スタンプ5個到達枚数（MELON 商品券交換数） 31枚（昨年度3枚）
 - スタンプ5個到達者数（同一人物が何回到達しても1人と計上）14人（昨年度3人）